



## 2023年度 大規模災害対策に関する現地調査

『東日本大震災復興状況調査(2011年3月11日発生から12年後の復興状況)』

# 調 査 報 告

2023年12月8～11日

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)



# 目 次

1. 調査概要.....	1
1.1. 実施概要.....	1
1.2. 参加者.....	7
2. 現地調査の概要報告.....	8
2.1. 宮古市田老地区.....	8
2.2. 宮古市.....	10
2.3. 鍬ヶ崎陸閘、閉伊川水門、津軽石川水門.....	11
2.4. いのちをつなぐ未来館（釜石市）.....	13
2.5. 岩手県オイルターミナル（株）（釜石市）.....	14
2.6. 大船渡市.....	15
2.7. （株）大船渡キャッセン.....	16
2.8. 陸前高田市.....	17
2.9. 気仙沼市.....	19
2.10. 仙台市宮城野区中野 5 丁目津波避難タワー.....	21
お世話になった皆様.....	22



## 1. 調査概要

### 1.1. 実施概要

#### (1) 開催趣旨

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR) では、大規模災害のメカニズムやその対策を研究、検討するにあたっては、「現地を見ること、現地の声聞くこと」が最も重要であるという認識のもと、毎年、全国各地で現地調査を実施してきた。

そこで、2023年度は『東日本大震災復興状況調査（2011年3月11日発生から12年後の復興状況）』と題して、岩手県宮古市田老地区から宮城県気仙沼地区にかけての三陸沿岸地域の震災から12年経過した復興状況を調査した。

#### (2) 主催

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)

#### (3) 実施日

2023年12月8日（金）～11日（月）（3泊4日）

#### (4) 調査実施場所

・岩手県宮古市田老地区～宮城県気仙沼地区、仙台市宮城野区（津波避難タワー）

#### (5) 参加者数

21名

#### (6) 現地調査の内容

震災から12年が経過し、各地域において復興が進んでいるが、その状況は地域によってかなり異なる。そこで、復興の成功例や、課題を抱えている地域の現状など、12年経過した現在の被災地の有り様を様々な角度で学習し、南海トラフ巨大地震津波対策検討の一助とする。

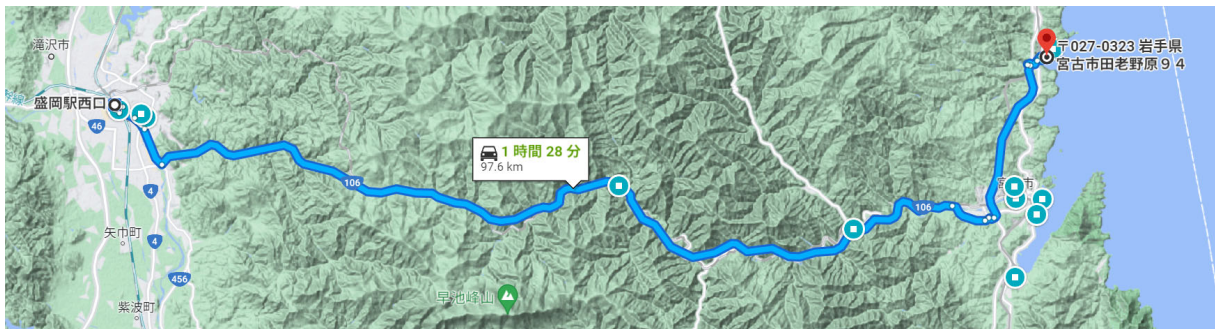
(7) 行程・スケジュール



図 1.1 現地調査 実施箇所位置及び経路図

1) 12月8日 (金)

- ・ 13:10 盛岡駅集合
- ・ 13:15 盛岡駅出発
- ・ 16:00～18:20 宮古市田老地区 (田老漁港)、宮古市役所  
【宮古市 危機管理監危機管理課、都市整備部都市計画課】
  - ① 田老地区の視察
    - ・ 津波防潮堤、人工地盤の視察と解説
    - ・ 防災集団移転促進事業による三王団地造成過程の解説
  - ② 宮古市役所に移動しての説明会
    - ・ 東日本大震災による田老地区の災害危険区域の土地利用
    - ・ 東日本大震災発生後の田老地区等宮古市の防災対策、計画の見直し項目
    - ・ 今後発生可能性がある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として田老地区で懸念される事項、検討すべき避難計画の内容、等
- ・ 18:30 宮古市内 (泊)



2) 12月9日 (土)

- ・ 8:15 ホテル出発
- ・ 8:35～10:00 鉾ヶ崎陸閘、閉伊川水門、津軽石川水門  
【岩手県 沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター】
  - ・ 鉾ヶ崎陸閘 (試験稼働)、閉伊川水門 (建設現場)、津軽石川水門 (試験稼働) の視察および解説
- ・ 11:00～12:10 いのちをつなぐ未来館 (釜石市)  
【いのちをつなぐ未来館】
  - ・ 施設の概要説明
  - ・ 最近の防災学習等の取り組み紹介 (特に次の大規模災害へどのような啓発活動、イベント等で注意喚起を行っているのか)
- ・ 13:30～14:30 岩手県オイルターミナル (株) (釜石市)  
【岩手県オイルターミナル (株)】
  - ・ 東日本大震災時の被害、復旧・復興過程
  - ・ 被災した際の連携・協力体制、代替手段等について
  - ・ 今後想定される日本海溝、千島海溝地震津波への対策
  - ・ 現地見学 (スロッシング対策など震災、津波災害への対策部分等について)

・ 15:30～17:30 キャッセン大船渡 (大船渡市)

【大船渡市 都市整備部土地利用課】

- ・ 東日本大震災による大船渡市の災害危険区域の土地利用 (震災発生前と現在との比較)
- ・ 東日本大震災発生後の大船渡市の防災対策、計画の見直し項目
- ・ 防災集団移転促進事業における大船渡市 (中心地域および周辺地域) 造成過程の解説と課題・問題点
- ・ 今後発生の可能性のある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として懸念される事項、検討すべき避難計画の内容など
- ・ 補足説明 (例えば、集団移転事業の造成地の空地問題、災害危険区域の土地利用の課題など)

【(株) 大船渡キャッセン】

- ・ キャッセンが整備されるまでの経緯 (どのようなコンセプト、計画に基づき整備されたか、事業用地の取得方法など)
- ・ まちもり大学などキャッセン運営の特徴、防災とまちづくり、など
- ・ 空き店舗の入れ替えなど商業戦略に関する現在および今後の課題、問題点

・ 18:00 大船渡市内 (泊)





3) 12月10日 (日)

・ 8:30 ホテル出発

・ 9:00～12:00 陸前高田市消防防災センター→市街地復興状況調査

【陸前高田市 政策推進室、建設部土地活用推進課、防災局防災課】

① 陸前高田市消防防災センターでの説明会

- ・ 防災集団移転促進事業による陸前高田市（高田地区等中心地域および周辺地域）造成過程の解説
- ・ 東日本大震災による陸前高田市の災害危険区域の土地利用（震災発生前と現在の比較）
- ・ 東日本大震災発生後の陸前高田市の防災対策、計画の見直し項目
- ・ 今後発生のある可能性がある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として懸念される事項、検討すべき避難計画の内容など
- ・ 補足説明（例えば、集団移転事業の造成地の空地問題、災害危険区域の土地利用の課題など）

② 防災集団移転促進事業等による造成地および災害危険区域（従前地）の視察

・ 14:00 気仙沼駅

・ 14:00～16:00 気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ

【気仙沼商工会議所】

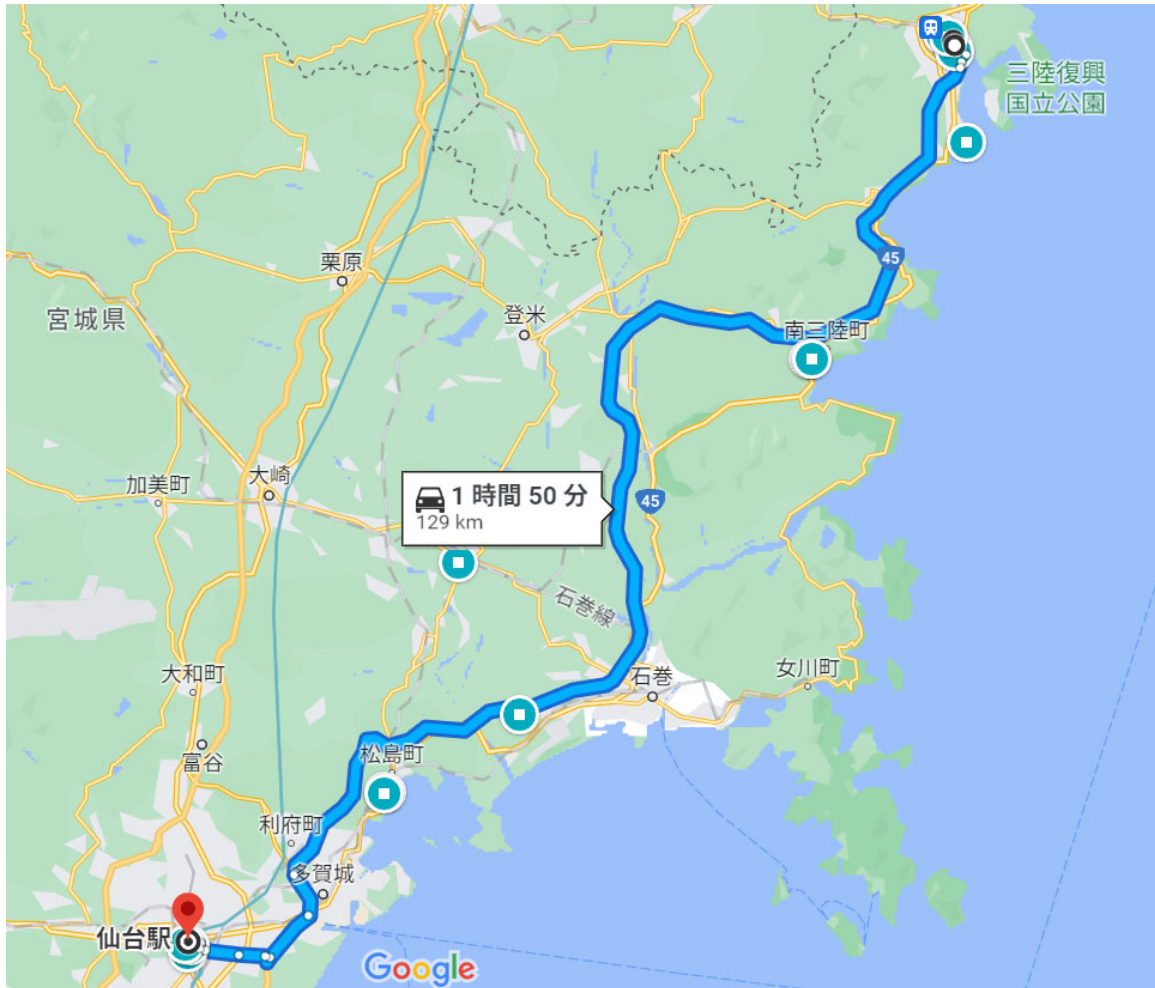
- ・ 内湾地区の防潮堤整備等に関する経緯
- ・ 防潮堤を勉強する会における議論、まちづくり協議会、など
- ・ 次の大規模災害（津波被害）に関して事前にどのようなまちづくり、環境を整えておく必要があるか、など

・ 16:30頃 気仙沼市内（泊）



4) 12月11日 (月)

- ・ 9:00 ホテル出発
- ・ 9:10～10:00 気仙沼「海の市」
- ・ 12:00～12:15 仙台市宮城野区中野5丁目津波避難タワー
- ・ 12:45 仙台駅解散



1.2. 参加者



宮古市田老地区 津波防潮堤・人工地盤連絡道路上にて (2023年12月8日)



気仙沼市 気仙沼漁港 (気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザ) にて (2023年12月10日)

## 2. 現地調査の概要報告

### 2.1. 宮古市田老地区

【宮古市 危機管理監危機管理課】

- ・ 津波防潮堤、人工地盤の視察と解説
- ・ 防災集団移転促進事業による三王団地造成過程の解説



宮古市危機管理監危機管理課/山崎課長による解説



三王眺望公園より高地移転した三王団地と田老地区（田老漁港）の説明を受ける



高地移転した三王団地



田老漁港における津波防潮堤と人工地盤

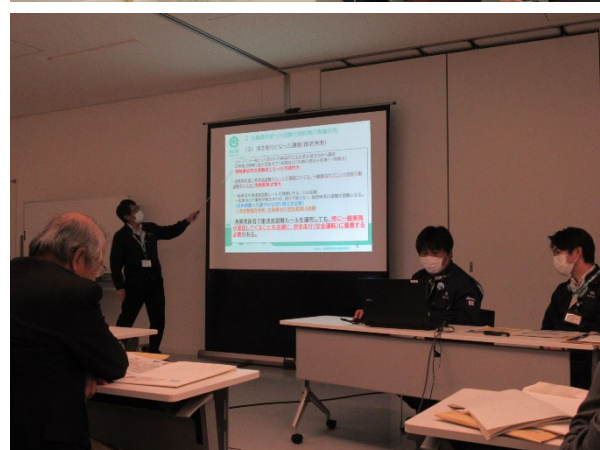


## 2.2. 宮古市

- ・ 東日本大震災による田老地区の災害危険区域の土地利用
- ・ 東日本大震災発生後の田老地区等宮古市の防災対策、計画の見直し項目
- ・ 今後発生の可能性のある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として田老地区で懸念される事項、検討すべき避難計画の内容、等



都市整備部都市計画課まちづくり推進係/花坂係長、危機管理監危機管理課/山崎課長による解説



イーストピアみやこ 会議室にて

### 2.3. 鍬ヶ崎陸閘、閉伊川水門、津軽石川水門

【岩手県 沿岸広域振興局土木部 宮古土木センター】

- ・ 鍬ヶ崎陸閘（試験稼働）、閉伊川水門（建設現場）、津軽石川水門（試験稼働）の視察及び解説



伊藤所長、島田副所長、復興まちづくり課/葛巻総括主任主査、田口技師による解説



鍬ヶ崎陸閘





鍬ヶ崎陸閘 (試験稼働)



閉伊川水門 (建設現場)



津軽石川水門 (試験稼働)



## 2.4. いのちをつなぐ未来館 (釜石市)

- ・ 施設の概要説明
- ・ 最近の防災学習等の取り組み紹介



地域創生事業部鶴殿住居トモス運営課/川崎さんによる解説



## 2.5. 岩手県オイルターミナル (株) (釜石市)

- ・ 東日本大震災時の被害、復旧・復興過程
- ・ 被災した際の連携・協力体制、代替手段等について
- ・ 今後想定される日本海溝、千島海溝地震津波への対策
- ・ 現地見学 (スロッシング対策など震災、津波災害への対策部分等について)



柏崎統括マネージャーによる解説



## 2.6. 大船渡市

### 【大船渡市都市整備部土地利用課】

- ・ 東日本大震災による大船渡市の災害危険区域の土地利用（震災発生前と現在との比較）
- ・ 東日本大震災発生後の大船渡市の防災対策、計画の見直し項目
- ・ 防災集団移転促進事業における大船渡市（中心地域および周辺地域）造成過程の解説と課題・問題点
- ・ 今後発生の可能性のある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として懸念される事項、検討すべき避難計画の内容など
- ・ 補足説明（例えば、集団移転事業の造成地の空地問題、災害危険区域の土地利用の課題など）



市街地まちづくり係/佐藤主任による解説



キャッセン大船渡 会議室にて

## 2.7. (株) 大船渡キャッセン

- ・ キャッセンが整備されるまでの経緯（どのようなコンセプト、計画に基づき整備されたか、事業用地の取得方法など）
- ・ まちもり大学などキャッセン運営の特徴、防災とまちづくり、など
- ・ 空き店舗の入れ替えなど商業戦略に関する現在および今後の課題、問題点



千葉取締役による解説

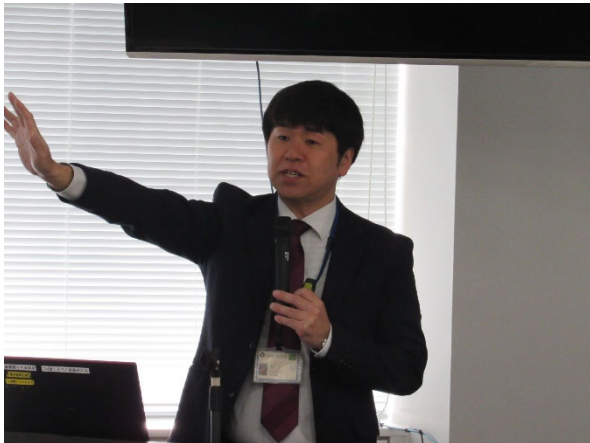


キャッセン大船渡 会議室にて

## 2.8. 陸前高田市

### 【陸前高田市 建設部土地活用推進課、防災局防災課】

- ・ 防災集団移転促進事業による陸前高田市（高田地区等中心地域および周辺地域）造成過程の解説
- ・ 東日本大震災による陸前高田市の災害危険区域の土地利用（震災発生前と現在との比較）
- ・ 東日本大震災発生後の陸前高田市の防災対策、計画の見直し項目
- ・ 今後発生の可能性のある日本海溝・千島海溝等を震源とする巨大地震による津波対策として懸念される事項、検討すべき避難計画の内容など
- ・ 補足説明（例えば、集団移転事業の造成地の空地問題、災害危険区域の土地利用の課題など）
- ・ 防災集団移転促進事業等による造成地および災害危険区域（従前地）の視察



土地活用推進課/村上課長補佐兼土地活用係長、防災局防災課/村上課長補佐による解説





道の駅高田松原、東日本大震災津波伝承館 (いわて TSUNAMI (つなみ) メモリアル)

## 2.9. 気仙沼市

### 【気仙沼商工会議所】

- ・ 内湾地区の防潮堤整備等に関する経緯
- ・ 防潮堤を勉強する会における議論、まちづくり協議会、など
- ・ 次の大規模災害（津波被害）に関して事前にどのようなまちづくり、環境を整えておく必要があるか、など



気仙沼商工会議所/菅原会頭による解説



気仙沼市まち・ひと・しごと交流プラザにて



気仙沼市南町海岸における防潮堤（フラップゲート式陸閘）の整備状況



2. 10. 仙台市宮城野区中野 5 丁目津波避難タワー



## お世話になった皆様

### 【企画・現地調整協力】

- ・ 福留邦洋 氏 (岩手大学 地域防災研究センター 教授)
- ・ 越村俊一 氏 (東北大学 災害科学国際研究所／副所長・教授、災害レジリエンス共創センター／副センター長、CDR 副理事長)

### 【講演、現地案内・解説】

松橋慎太郎 氏 (宮古市 危機管理監危機管理課 防災係長)  
山崎正幸 氏 (危機管理監危機管理課 課長、日本防災士会岩手県支部 事務局長)  
盛合弘昭 氏 (都市整備部都市計画課 課長)  
花坂真吾 氏 (都市整備部都市計画課まちづくり推進係 係長)

伊藤秋彦 氏 (岩手県 沿岸広域振興局土木部宮古土木センター 所長)  
島田耕司 氏 (土木部宮古土木センター 副所長)  
葛巻賢二 氏 (復興まちづくり課 総括主任主査)  
田口睦朗 氏 (復興まちづくり課 技師)

川崎杏樹 氏 (いのちをつなぐ未来館 地域創生事業部鶴住居トモス運営課)

伊藤 聡 氏 (三陸ひとつなぎ自然学校 代表)

柏崎 理 氏 (岩手県オイルターミナル (株) 統括マネージャー)  
小笠原良周 氏 (チーフマネージャー)  
高橋喜勝 氏 (代表取締役専務)  
正木隆司 氏 (常勤監査役)

佐藤世紀 氏 (大船渡市 都市整備部土地利用課市街地まちづくり係 主任)

千葉隆治 氏 ((株) キャッセン大船渡 取締役)

松木 翔 氏 (陸前高田市 政策推進室 秘書係長)  
村上幸司 氏 (政策推進室 室長)  
村上幸義 氏 (建設部土地活用推進課 課長補佐兼土地活用係長)  
高橋宏紀 氏 (建設部土地活用推進課 課長)  
村上 聡 氏 (防災局防災課 課長補佐)

菅原昭彦 氏 (気仙沼商工会議所 会頭、男山本店 代表取締役社長)

### 【旅行会社】

(株)日本旅行 大阪法人営業統括部 コーポレート営業部  
堤野 剛 氏

ご協力くださいました皆様へ心から感謝の気持ちと御礼を申し上げたく、謝辞にかえさせていただきます。



2023 年度 大規模災害対策に関する現地調査

『東日本大震災復興状況調査 (2011 年 3 月 11 日発生から 12 年後の復興状況)』

2024 年 2 月 9 日 発行

著作・発行

特定非営利活動法人 大規模災害対策研究機構 (CDR)

〒531-0074 大阪市北区本庄東 2-3-20 株式会社 ニュージェック研究開発グループ気付

TEL : 06-6374-4420

E-mail : cdr@newjec.co.jp

<http://e-tsunami.com/>